



NEWS

あかりのたより

第2回「全国小学生ポスターコンテスト」
入賞作品発表

第21回「あかりの日」街頭キャンペーン

ワールドカップ2002スタジアムの紹介

施設例紹介

- 福島／あぶくま洞
- 神戸市／相楽園
- BIG-i
- 学校法人立教女学院聖マリア礼拝堂

第42号

平成14年2月

Contest

第2回「全国小学生ポスターコンテスト」入賞作品発表

今年も「全国小学生ポスターコンテスト」が開催されました。昨年に引き続き第2回目となる今回は、全国から422点と多数の応募がありました。

コンテストは、トーマス・エジソンが世界ではじめて実用電球を開発した10月21日（1879年）を記念した「あかりの日」に合わせて行われ、あかりの日委員会による審査の末（特別審査員としてグラフィックデザイナーの青葉益輝氏が出席）、最優秀作品1点、優秀作品10点、入選作品100点が選出されました。

最優秀賞には、石川県加賀市立片山津小学校6年の大坂亜希さんの作品が選ばれ、来年の「あかりの日」のポスターとして採用されることになりました。入賞した111点の作品は、10月18日～23日に渋谷・電力館で展示され、10月21日には、同館において最優秀賞、優秀賞の表彰式が行われました。

最優秀作品



▲大坂 亜希さんの作品（小学校6年・石川県）

優秀作品10点



桜井 みづきさん（北海道）



上西 のどかさん（北海道）



梅津 利之さん（岩手県）



上江洲 諒さん（東京都）



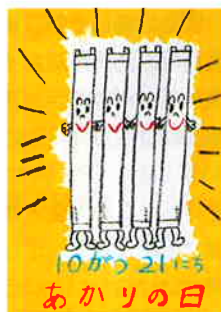
大塚 華奈子さん（神奈川県）



新谷 彩さん（石川県）



池谷 知恵さん（静岡県）



桂川 展明さん（岐阜県）



永野 蒼玲さん（兵庫県）



客野 晃司さん（高知県）

Campaign

第21回「あかりの日」 街頭キャンペーン

平成13年10月21日の第21回「あかりの日」に合わせ、毎年恒例となった街頭PRを当照明学会普及部を含む関係4団体で構成する「あかりの日」委員会メンバー約200人により10月19日に実施しました。

今年は「メモ帳」に代わり「電球」を「住まいの照明手帳」、「アンケート葉書」とともに配布しました。



「あかりの日」各地区概要報告

(北海道) 晴天で、人通りも多く、中に電球が入っているということもあり順調に配布は進みましたが、「あかりの日」について知っている人は少ないように感じました。

(東北) 電球配布はお客さまに非常に喜ばれ、約45分で終了しました。

(東京) 配布物が電球だったため、昨年のメモ帳よりはスムーズに受け取ってもらえました。

(中部) 毎年、電球を貰いにくる方もおり、事前に電気文化会館に問い合わせがある位でした。

(北陸) 「あかりの日」については10代～20代の若い方ほど関心は薄いですが、40代になると由来について質問される方もあり、関心は高いと感じました。

(関西) 関西電力50周年記念イベント「くらしと電気展」が「神戸ランプミュージアム」で開催されており、そのPRもかねて行いました。三ノ宮センター街の入口で行ったため大変人通りが多く、短時間で配布が完了しました。

(中国) 電球はいらぬという方もおられましたが、あかりの日をご存知の

方は、電球を心待ちにしておられる様子。「電球をいただけるのはありがたい」という声は何件もあり、やりがいがありました。

(四国) 「PR用品を環境蛍光ランプに変更しないのですか」と言う方もおられました。記者クラブからは「あかりの日」の質問があり、パブリシティに基づき説明しました。

(九州) 人通りが多く45分位で配布完了。中高年層に多く配布されました。

(沖縄) 今年は電球と言うことで特に主婦層からの反応が良かったです。

Report

ワールドカップ2002 スタジアムの紹介

今年6月いよいよアジア初のワールドカップが日本と韓国とで共同開催されます。興奮と感動の演出を盛り上げるのは選手とサポーター達だけではありません。スタジアム照明技術がさらに感動を盛り上げてくれることでしょう。そこで、今回はスタジアム照明の点から埼玉スタジアムにスポットをあててみました。



大韓民国

- ① ソウルワールドカップ競技場
- ② インチョンムンハク競技場
- ③ スウォンワールドカップ競技場
- ④ テジョンワールドカップ競技場
- ⑤ ジョンジュワールドカップ競技場
- ⑥ カンジュワールドカップ競技場
- ⑦ テグ総合競技場
- ⑧ ウルサンムンスサッカー競技場
- ⑨ プサンアジアード競技場
- ⑩ チェジュドワールドカップ競技場

日本

- ① 札幌ドーム (HIROBA)
- ② 宮城スタジアム
- ③ 新潟スタジアム (ビッグスワン)
- ④ 茨城県立カシマサッカースタジアム
- ⑤ 埼玉スタジアム2002
- ⑥ 横浜国際総合競技場
- ⑦ 静岡スタジアム エコバ
- ⑧ 長居陸上競技場
- ⑨ 神戸ウイングスタジアム
- ⑩ 大分スポーツ公園総合競技場ビッグアイ

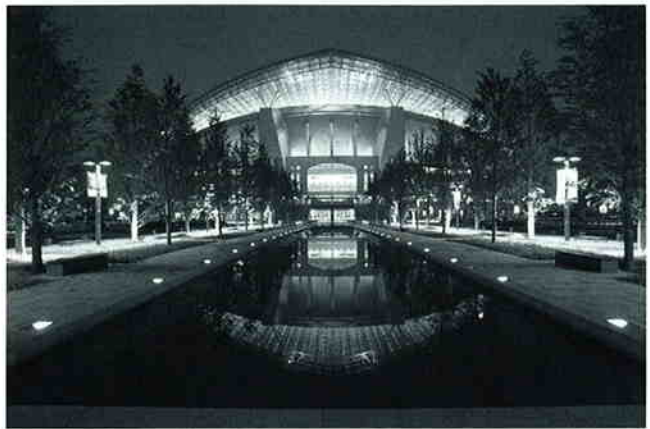
2002 FIFAワールドカップ公式サイト
[<http://fifaworldcup.yahoo.com/jp/>] より

⑤ 埼玉スタジアム



◀6月に4日間試合が行われる埼玉スタジアム、中でも26日の準決勝はかなりの盛り上がりが見込めます。スタジアム内はハイビジョンテレビ放送にも対応可能な平均照度2000lxを可能とした、356灯の高演色形メタルハライドランプ2000Wによる投光照明となっています。

▼スタジアム正面のプロムナードからの眺めは、スタジアムのライティングが水路に映りこみ、周辺の高圧ナトリウムランプの温かみのある外溝照明とともに美しい風景を創り出しています。



(資料提供：岩崎電気、東芝ライテック)

Book review

新刊案内

あたらしい照明133号

「新しい光源と照明手法」

〈内容〉

1. 新手法施設例—リモートソースライティング/修景照明/電線地中化他、
2. 新光源施設例—LED/セラミックメタルハライドランプ/無電極放電ランプ/冷陰極ランプ他、
3. 光応用分野解説—光応用システム/紫外線硬化/光触媒/紫外線殺菌/植物育成/防蚊灯他 (目次より抜粋)

〈本体価格：1,500円/税送料別〉

編集スタッフ

主査：瀬川太郎 (関西電力) 幹事：杉山真弓 (松下電工)
委員：安倍容子 (岩崎電気)、佐取 潔 (小糸工業)、平野里香 (東芝ライテック)
藤本浩之 (関西電力)、水島保之 (三菱電機照明)、頼本雄高 (ヤマギワ)
押田直子 (照明学会)

新・照明教室

「工場照明」

〈内容〉

1. 工場照明の目的と考え方、2. 工場照明と作業環境の最適化、3. 照明計画と設計要件、4. 光源および照明器具、5. 照明経済と保守管理、6. 工場照明診断のチェックポイント

〈本体価格：1,500円/税送料別〉

●お申込みは

E-mailまたはFAXにて照明学会普及部 事務局までどうぞ。

E-mail: ieiufuky@sepia.ocn.ne.jp

FAX: 03-5294-0102

施設例紹介

●福島／あぶくま洞

あぶくま洞は福島県に位置し、およそ8000万年という気の遠くなるような歳月をかけて形成された鐘乳洞です。昭和48年に一般公開されて以来、その多彩な形態は学術的にも貴重なものとされてきましたが、器具の老朽化などにより、平成13年10月にリニューアル

されました。洞内の特に見所である「滝根御殿」と「月の世界」の演出照明を重点的に行い、カラーHIDランプ（ブ

ルー）や照明制御により幻想的な空間を演出しています。

（資料提供：東芝ライテック）



▲滝根御殿「洞内奥と手前に濃淡をつけ、奥行感を演出」

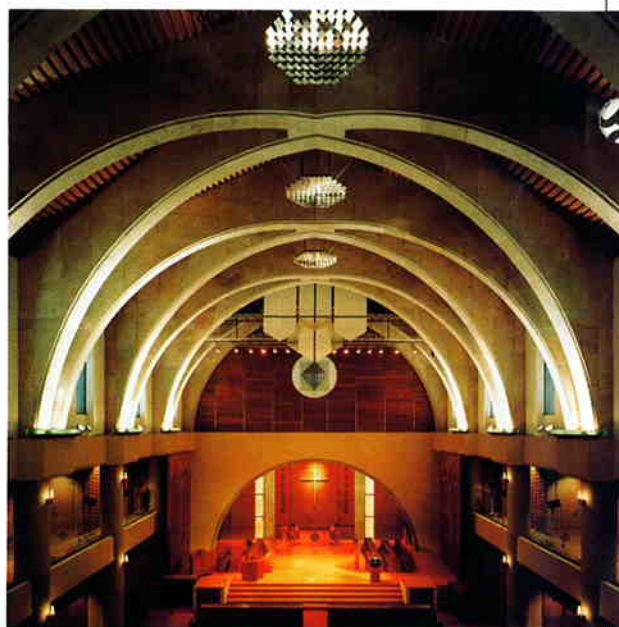


▲月の世界「日の出～日の入を照明演出」



●神戸市／相楽園

神戸21世紀復興記念事業の一環として計画され、春からイベントに合わせ夜間の特別拝観が実施されています。照明計画の指針となるコンセプトを『時の旅-時の旅へといざなうあかり-』とし、庭園に点在する重要文化財等の建物の特徴を活かしたライティング計画を立案しました。季節によって光色を切替える事の出来るHID光源を使用したライトアップ照明や、スモークマシーンで発生させた霧を池の中からライトアップを施すファイバー照明など、時の移り変りを幻想的に表現しています。（資料提供：岩崎電気）



●学校法人立教女学院 聖マリア礼拝堂

空間を高天井のオーデトリウムとして捉え、演出効果とメンテナンス性を考慮。主照明を2階上部の横梁からクロスボルトの梁・反射鏡オブジェにアップライティングし、リフレクションにより基本照度を確保しています。慎ましやかで品格のある暖かさをもった礼拝堂となっています。（資料提供：ヤマギワPDC）

●BIG-i

福島県JR郡山駅前に大型複合ビル「BIG-i」が誕生しました。最上階にある「ふれあい科学館」は、ガラスウオークに囲まれたアトリウム空間。中央に球体のプラネタリウムが設けられています。夜間には、ムービングライトにより球体を照射。年間タイマーにより、季節や時間に合わせたカラー演出を行い、地域のランドマークとして親しまれています。

（資料提供：松下電工）



▲夏季点灯



▲冬季点灯